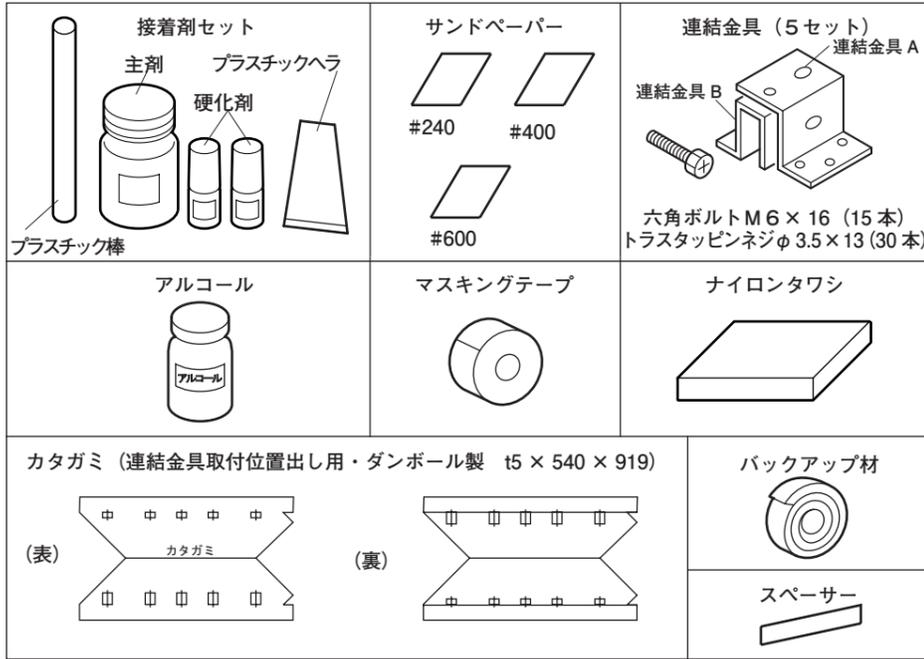


システムキッチン 取付・設置説明書(ポリエステル系人工大理石L形ワークトップ)

本説明書は人工大理石L形ワークトップの接着作業を記載しています。キャビネットの設置、ガス機器の組込等については、別に同梱されています“システムキッチン取付・設置説明書”をお読みください。

■取付・設置用部品の確認

下記の部品が同梱されています。不足品のないことを確認してください。



■接着剤セットの中には次の材料等が入っています

- ・主 剤 1ビン: 接着剤で危険物第4類第2石油類に該当します。
- ・硬 化 剤 2本 : 有機過酸化物であり、危険物第5類自己反応性物質に該当します。
- ・プラスチック棒 1本(混合用)
- ・プラスチックヘラ 1本(塗布用)

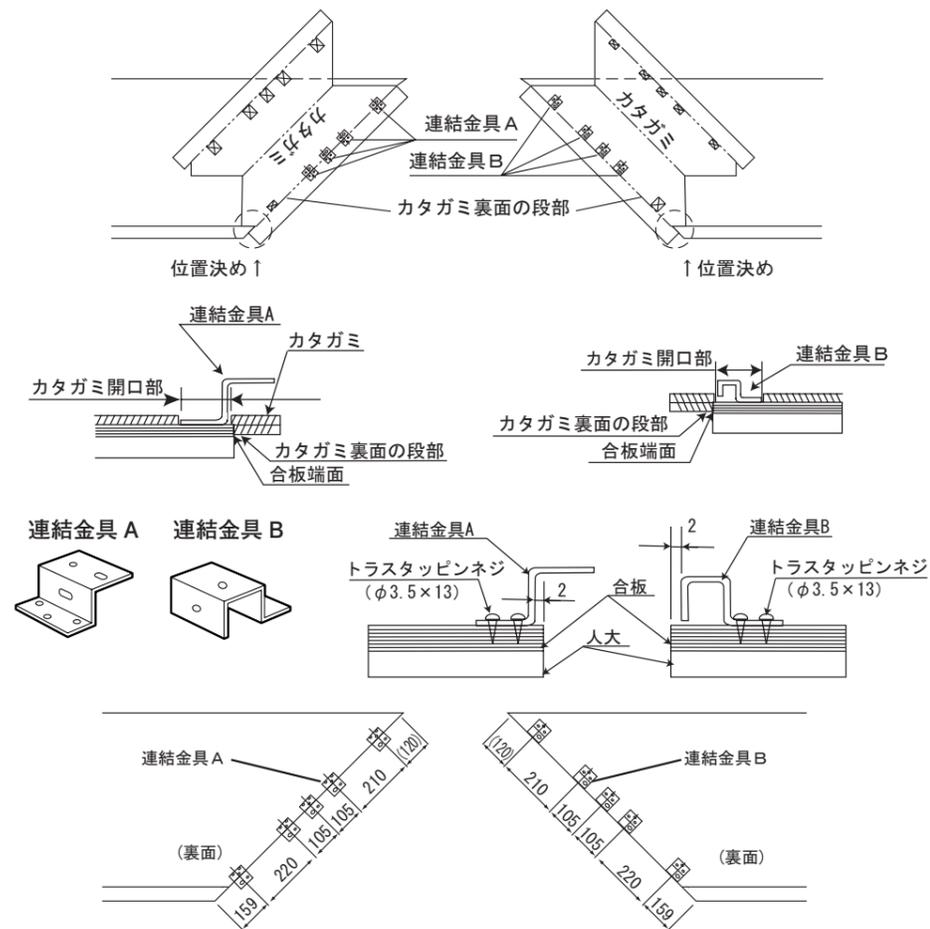
ワークトップの接続作業には、上記部品の他に以下の工具をご用意ください。
やすり(小さいもの)、スパナ、ドライバー、ドライヤー、スクレーパー



2. 連結金具の取付

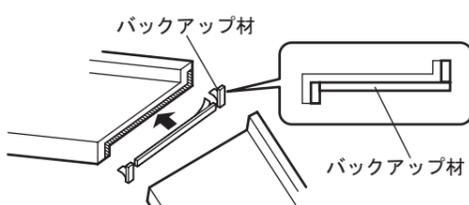
連結金具A、Bをカタガミを使って下図の位置にトラスタッピンネジ(φ3.5×13)で取付けてください。

※型紙の使いかた(合板の端面とカタガミ裏面の段部と○印部で位置決めする)



3. バックアップ材の取付

接着面の木枠部分に同梱のバックアップ材をワークトップ下側(右図斜線部)に貼り付けてください。



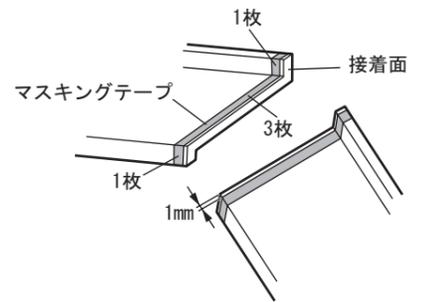
■取付・設置順序

設置の順序は次のようになります。

(作業要領)	(標準作業時間)
1. 接着面の確認と清掃	(5分)
2. 連結金具の取付	(5分)
3. バックアップ材の取付	(2分)
4. ワークトップの接着前調整	(10分×2人)
5. スペースの挟み込み	(3分)
6. ワークトップとベースキャビネットの連結	(5分)
7. 接着剤の混合	(5分)
8. 接着剤の塗布	(10分)
9. 接着状態の確認	(3分)
10. 接着剤の乾燥硬化	(1日)
11. 表面研磨仕上げ	(20分)
12. 仕上り状態の確認	(5分)

1. 接着面の確認と清掃

- ① 接着面に凹凸がない事を確認してください。接着面に凹凸があったり、表面側に欠けキズがある場合には、サンドペーパーで接着面が均一になるように仕上げてください。
- ② ワークトップの接着部全面と周囲をアルコールをつけたきれいな布で拭いてください。汚れやホコリがついたまま接着すると接着部が黒い線になりきれいに仕上がりにません。
- ③ 接着面の接着ラインから左右1mm程度離してマスキングテープを3枚程度重ねて貼ってください。



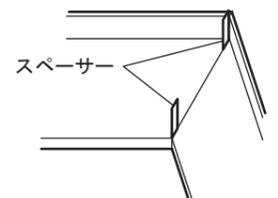
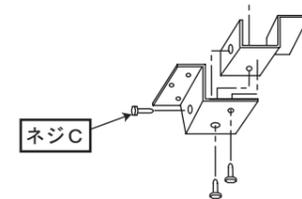
4. ワークトップの接着前調整

ワークトップの段違いを、段違い調整ネジA・Bにより調整します。

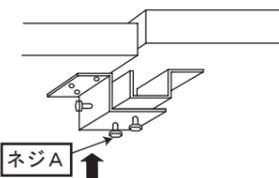
ポイント

- ワークトップの高さ調整はキャビネットに載せた状態で行います。
- 段違い調整ネジA,Bは一度に締め付けず少しずつ調整してください。無理に締めつけると、ワークトップに反りや段違い等が発生します。
- 接続部の段違い調整が不十分な場合、仕上げに時間を要します。また、研磨による凹凸が発生します。

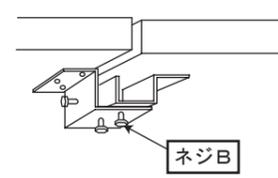
- ① ワークトップ裏面の連結金具に、付属のネジ(M6×16)を取り付けてください。
- ② 付属のスペーサーを左右ワークトップの間2ヶ所に挟み(図参照)、スペーサーが動く程度引けば抜ける程度にネジCを締め付けてください。(手締めで十分です)



- ③ ネジA,Bを回して、ワークトップの高さを調整してください。
<左側を上げる場合>
・ネジAを締め付けてください。



- <右側を上げる場合>
・ネジBを締め付けてください。

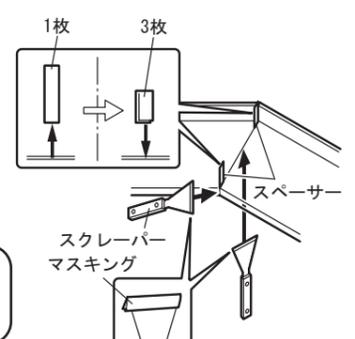


5. スペースの挟み込み

左右ワークトップの隙間にスクレーパーを差込み、4. ②で挟み込んだスペーサー(1枚重ね)を抜いて3枚重ねにしたスペーサーを同じ所に挟み込んでください(2ヶ所)。

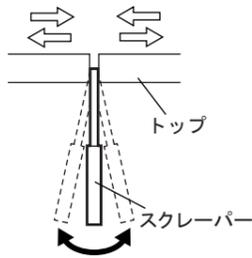
ポイント

- スクレーパーの差込みは、トップの下から行ってください。上から行うと、人大が欠ける場合があります。



6. ワークトップとベースキャビネットの連結

ワークトップとベースキャビネットを連結してください。連結後、左右ワークトップの隙間にトップの下からスクレーパーを差し込み、右図のようにスクレーパーを動かすことでトップが矢印のように動くことを確認してください。



ポイント

- キャビネット内よりL金具にてワークトップ裏面へネジ止めしてください。詳しくは“システムキッチン取付・設置説明書”をお読みください。
- ワークトップとベースキャビネットの連結をした後に、再度4. ワークトップの接着前調整を参照して高さを微調整してください。

7. 接着剤の混合

接着剤に同梱している取扱説明書を参照してください。

ポイント

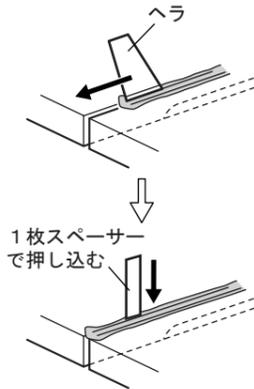
- パレット及びヘラは、よく清掃し、汚れ、ホコリを取り除いてから使用してください。
- 混合時間が短いと、接着力が出ません。又、長いと接着剤の硬化が早くなり、可使用時間(混合後、接着可能な時間)が短くなります。
- 接着剤の可使用時間は、約20分です。
- 主剤の容器を斜めにして回転させ、同梱のプラスチック棒を逆回転させながら混ぜると攪拌しやすくなります。



8. 接着剤の塗布

接着剤の塗布はムラなく十分に塗布してください。特に前縁、バックガード部は十分に塗布してください。

- ① 接着面をドライヤー等で30℃～40℃に加熱してください。ワークトップの温度が15℃以下の場合、接着強度がでないことがあります。
- ② 接着面への塗布
ワークトップの接続部に接着剤を切れ目なく適量塗布してください。



10. 接着剤の乾燥硬化

- ① 接着作業後1日以上乾燥期間をとり、接着剤を硬化させてください。完全硬化する前に荷重等が掛かると剥がれるおそれがあります。
- ② 接着時、作業現場の温度がとくに低い場合(5℃以下の時)1日後でも接着剤が硬化しないことがあります。その場合は、部屋全体を温めるか、接着部分をドライヤー等で温めてください。

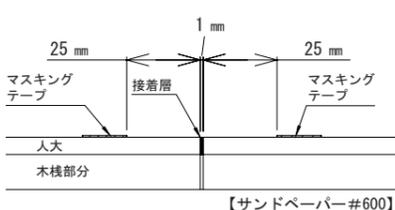
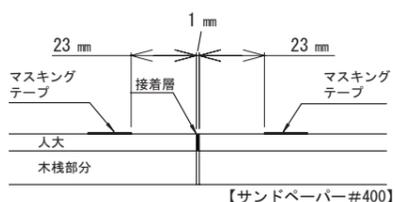
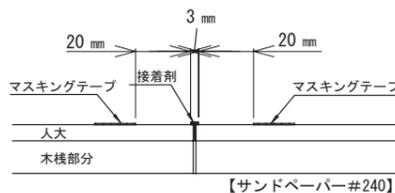
ポイント

- 温度が60℃以上にならないよう注意してください。温度が高くなりすぎると接着剤が黄変します。
- 接着剤の乾燥硬化が不十分な場合には、接着剤の研磨後に接着剤が収縮し、継ぎ目がへこむことがあります。
- 接着剤の硬化は温度に大きく影響を受けます。被接着物の温度及び接着場所の環境温度に十分配慮してください。
- 被接着物の温度及び接着場所の環境温度が15℃以下の場合、接着強度が出ない場合があります。
- 養生時間は、加熱する場合は4時間程度、加熱を行わない場合は1昼夜程度必要です。

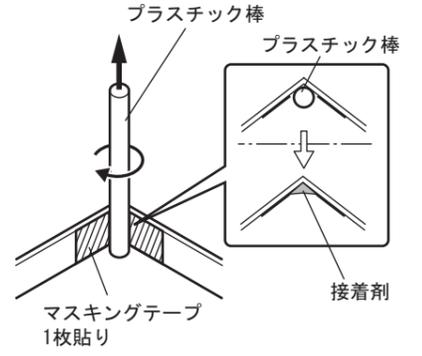
11. 表面研磨仕上げ

サンドペーパーの番手を上げる毎に少しずつ研磨範囲を広げていきます。

- ① 接着剤が完全に硬化しているか確認してください。
- ② 接着剤端部より両側20mm離してマスキングテープを貼ってください。
- ③ 当て木等をサンドペーパー(#240)で包んで接着剤を研磨してください。
- ④ この際、マスキングテープが破れてしまった場合は再度、同じ場所に貼りなおしてください。
- ⑤ 接合部が平滑になったらマスキングテープをはがしてください。
- ⑥ 接着層端部より両側23mm離してマスキングテープを貼ってください。
- ⑦ 当て木を上にしてサンドペーパー(#400)で包んで接合部を研磨し、前のペーパー傷が残らない様に研磨してください。
- ⑧ 接合部が平滑になったらマスキングテープをはがしてください。



- ③ スペース(3枚重ね)を抜いてください。充填した接着剤が1mm以上盛り上るのを確認してください。この盛り上りは、乾燥後ヒケとなるので、ヘラなどで平らにしないでください。
- ④ 前縁、バックガード部は図のように接着剤を塗布してください。
- ⑤ 余分な接着剤をヘラなどで取り除いてください。
- ⑥ マスキングテープを剥がしてください。

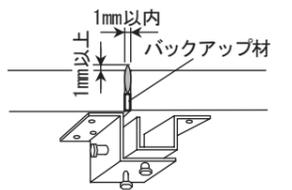


ポイント

- 接着剤は20分以内に使い切ってください。硬化(ゲル化)が始まり接着力が低下します。接着剤の塗布は手早く行ってください。
- 前縁、バックガード部の塗布が十分でない場合、割れの原因になりますのでご注意ください。
- 前縁、バックガード部は接着剤硬化後の研磨は困難ですので、最終仕上がりの状態にきれいに塗布してください。
- 中央寄せネジCは締め付けすぎないでください。無理な応力が加わり反りの発生の原因になります。
- 余計な所に付着した接着剤はきれいに拭き取ってください。

9. 接着状態の確認

- ① 接着剤が継ぎ目から1mm程度はみだしているか確認ください。
※接着剤は硬化とともに収縮しますので接着剤の盛り上がりは取らずにそのままの状態を硬化させてください。
- ② 接着剤のはみ出しが不足している部分には、補充してください。



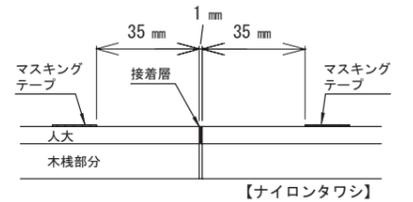
ポイント

- 接着剤のはみ出しが不足していると仕上研磨後、継ぎ目がへこむおそれがあります。
- 接着部に気泡がある場合は、空気を抜いて接着剤を埋めてください。
- 接着剤に汚れやホコリが混入すると、接着部が黒い線になります。

- ⑨ 接着層端部より両側25mm離してマスキングテープを貼ってください。

- ⑩ 当て木を上にしてサンドペーパー(#600)で包んで接合部を研磨し、前のペーパー傷が目立たない様に研磨してください。

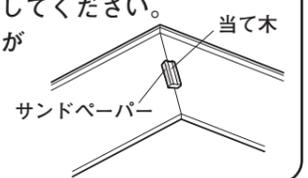
- ⑪ 接合部が平滑になったらマスキングテープをはがしてください。
- ⑫ 接着層端部より両側35mm離してマスキングテープを貼ってください。



- ⑬ マスキングテープにできるだけ触れない範囲でナイロントワシで研磨部全体を磨いてください。研磨部と未研磨部の境目が目立たない様に仕上げてください。
※特にキッチン前面に出窓など光が入るレイアウトの場合は研磨部の色ツヤが目立つため注意してください。
- ⑭ 前縁とバックガード入隅部に接着剤が少し残った場合は、細い棒にサンドペーパー(#400～#600)を巻いて研磨し、ナイロントワシで仕上げてください。

ポイント

- 削り過ぎないように平滑度をチェックしながら研磨してください。
- 粗いペーパーの研磨跡が残っていると使用時に汚れが入り、見苦しくなります。
- 平面部をノミやカンナで削ると接着剤が欠けて穴があくことがありますので使わないでください。



12. 仕上り状態の確認

以下の項目に従い仕上り状態の確認をしてください。

項目	補修の方法
① 粗いペーパーの研磨跡は残っていないか。	⇒ 細かいペーパーで仕上げてください。
② 接合部が平滑になっているか。	⇒ 削り直してください。
③ 接合部に接着剤が十分に充填されているか。	⇒ 穴をなだらかに研磨して、接着剤を注入してください。乾燥硬化後研磨仕上げてください。

株式会社ハウステック

〒370-0841 群馬県高崎市栄町1-1 ヤマダホールディングス本社11階
☎(027)395-0410

L34S1045ZE